



山本ようすけのプロフィールです

- 1990年11月6日、武蔵村山市生まれ。稲城市育ち
- 2006年、立川高校へ入学。地理の授業で「南北問題」を知り、世界の格差に衝撃を受ける。この経験が、「生きづらさを抱える人のために何ができるのか」を考える原点となる
歴史が好きで高校時代のあだ名は「歴史くん」
- 2009年、立川高校を卒業。河合塾(立川校)での浪人生活
立川駅北口で『ビッグイシュー』の販売者と出会い、ボランティア活動を開始。現場での出会いを通じて、貧困や孤立の現実と直面。この経験が政治を志すきっかけに
- 2010年、一橋大学社会学部に進学。貧困、ジェンダー、政治、経済などを学び、卒論は多摩地域のホームレス問題がテーマ
- 2014年、一橋大学を卒業。「とりあえず問題解決能力を身に付けた」という理由で外資系コンサルティング会社に就職
過酷な労働環境、休職に追い込まれた同期、都心での路上生活者の多さなど、社会の不条理を痛感。当時、立川市議だった大沢ゆたか氏から声をかけられ市政への挑戦を決意
- 2018年、立川市議会議員選挙に初当選（1,288票）
- 2022年、最年少市議として2期目の当選（2,082票）

- 会派「立憲ネット緑たちかわ」所属
- 厚生委員会 委員長
- 緑の党 グリーンスジャパン
- 気候危機・自治体議員の会
- 保護司、NPO 法人さんきゅうハウス理事

- ★趣味：歴史、読書、映画鑑賞、登山、旅行
街歩き、ゲーム、子どもと遊ぶこと
- ★好きな本：三国志、史記、聖☆お兄さん



どちらかというと犬派(猫も好き)



4歳下と10歳下の妹の3兄妹



この世界に入るきっかけになった、故・金子さんと。立川駅北口のビッグイシュー販売者でした。



アンパンマンが大好き。やなせ先生は今も尊敬。朝ドラ「あんぱん」もよかった！



2018年6月の選挙



漫画で政治家を目指すことになった経緯を紹介しています。上のQRが「漫画でわかる山本ようすけ！」で検索！



登山や自然に囲まれたところが好きです



私たちも応援します！



宇都宮けんじ
日本弁護士会元会長



漢人あきこ
東京都議会議員



大沢ゆたか
NPO 法人さんきゅう
ハウス理事長

島田清作(富士見町・元立川市議会議員)
瀬戸昌之(羽衣町・環境学者)
山田真由美(高松町・フリーライター)
金井勝信(高松町・暖談店主)
本田美代子(高松町・小梅の珈琲焙煎所店主)
伊藤龍也(一番町・フォトグラファー)
溝口絵璃(富士見町・漫画家)
中里繪魯洲(西砂町・美術家)
加藤みどり(錦町・立川在障会)
佐藤靱彦(羽衣町・紫芳会立川支部会員)

【発行・連絡先】

やさしい街・立川をつくる会 〒190-0011 立川市高松町 2-19-1

☎080-5650-7833 ✉t.yamayou@gmail.com

各種 SNS 等、「山本ようすけ」で情報発信中！



山本ようすけ

立川市議会議員

将来への不安が広がる今だからこそ、必要なのは、足元の暮らしを支える政治です。これからも現場に根ざし、一歩ずつ前へ進めていきます。



この8年間、市議会議員として、若者政策や住まいの支援、ごみ減量など、暮らしに関わる課題に一つひとつ向き合い、確実に前に進めてきたという手応えがあります。

将来不安ゼロの立川へ、一歩ずつ

厚生委員会委員長としての
公務も沢山ありました